

平成 31 年度

小規模多機能型居宅介護
「サービス評価」公表資料



たきのほむ **福の神**

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田、紙田・山木・山田 以上 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		13	3		16

前回の改善計画	ご本人の思いを知る。不安なく過ごしていただけるように気遣う。利用開始前に必ずミーティングを行う事。参加できなかったスタッフには個別に申し送ること。家族等の不安に対しては受け止め一緒に考えることで信頼関係を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用初期の利用者さんに関しては、特に意識して関わりを持つようにしている。スタッフ間の情報共有に関してはまだまだ課題が残っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		12	4		16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		13	3		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	10	5		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	13	2		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 初期の関りでは、特に意識的に、ミーティング・スタッフノートを通じて、スタッフ間で、ご本人の関係する情報を共有できるように努めている。 通いや送迎・訪問時など意識的にコミュニケーションを行っている。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用開始前の書面での情報あるがミーティングが行われていることが少なかった。 各自が自ら積極的に利用者を知る努力が足りなかった。 送迎に出る機会が少ないため、家族との関りは不十分である。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 業務開始前に必ずミーティングをする時間を設ける。 ⊗をつけて重要性を伝える。 各職員はスタッフノートに、必ず目を通し積極的に共通理解に努める。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田・紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	10		16

前回の改善計画
本人の思いを少しでも家族に理解・協力を得られるようにする。支援はスタッフと協力しながら行っているがすぐに対応できない時もあるので理由を説明して頂きその日のうちに対応する。利用者一人一人のライフサポートワークはいつでも読めるように整備する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者から出た思いは、すぐにミーティングを行い対応する行動に移せている。本人の思いを家族に理解してもらうことについては、もっと努力が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	9	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	9		16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	11		16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	9	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の関りの中で、ご本人が何をしたいのか確認しながら行動している。
ご本人からの「～したい」の意思表示を受け止め、周りのスタッフにも伝えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族の要求に応えようとする中で、ご本人の気持ちを尊重できていない。
言葉で表現できないご本人の思いを知ることが難しい。
ライフサポートワークができてないことで目標がわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者一人ひとりの思いを知り、その本人の思いを少しでも家族に理解・協力を得られるようにする。
各職員一人ひとり、ライフサポートワークを今一度、勉強会を開くなどをして理解する。また今のライフサポートワークの整備に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田、紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	12	3		16

前回の改善計画	本人の声にならない声を気付いて言語化できるように日々の関り、記録を大切にする。 本人にしてもらえるように“待つ心”を持つこと。 本人に合わせた支援を心がけること
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者一人ひとりのペースに合わせ支援する意識が見られるようになってきている。 声にならない声に気付けるような関わりがまだ足りないように思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	12	1	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	13	2		16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	5	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	12	2		16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	3		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体状況や気持ちの変化があった場合は、他のスタッフとも共有し、様子観察に努めている。 ご本人の発言や行動を妨げないように待っている。 その日の体調に合わせた食事提供をしている。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 声を発することができない利用者の思いに気付けない。 ご本人のペースで行動できない時がある。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人のできることを情報収集する。声を発することができない利用者には表情や行動などまたどう気持ちでいるのかを考える。 本人にしてもらえるように待つ心を持つこと。利用者の自立支援を意識する事
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田、紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	7		16

前回の改善計画
 地域資源の活用では少しずつではあるが行っている。しかし、十分に把握しきれていないところがあるので情報収集に努める。地域の力の活用。地域に出かけるスタッフは偏らないようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 地域行事などに積極的に参加できるようになってきている。地域の力の活用にはまだ課題が残るが、地域との関わりは増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	12	2	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	7		16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	11	1	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	12	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご本人の思い入れのある場所にお連れしたり、地域行事に参加している。地域の方との交流の中で、以前の関りを知ることができた。家族との関りも持つように心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 自宅での生活・様子が把握できていない。ご本人の近隣との関係性や地域の資源を十分に把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域資源を十分に把握しきれていないので、情報収集に努める。地域に出かけるスタッフが偏らないようにする。家族とのコミュニケーションをとるようにし自宅での利用者の様子を把握する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田、紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	4		16

前回の改善計画
ニーズに基づく支援をする。事業所の都合でサービス提供はしないこと。
訪問先や通所の際の小さい変化を見逃さないこと。スタッフは言葉にするように心がける。
柔軟な支援に繋がるようにスタッフ同士が協力する事。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人主体のサービスになっているかを意識し、考えるようになってきている。
スタッフ同士の協力において、情報の共有にはまだ課題が残っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	9		16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	12	2		16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	11	4		16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	14	1		16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調の変化等、本人の状況に合わせ、通い・訪問・泊りを変更したり、訪問の回数を増やす等の対応をしている。
本人の思いやニーズに応えられるよう柔軟な支援を心掛けている。
日々の関わりで得た気付きは、報告とともに記録に残すようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の変化に気付き申し送っても、共有に至らず見落としがある。
地域の資源に対して理解が不足していることもあり、活用できていない。
職員や事業所の都合で本人の思いに寄り添えていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
その時のニーズについては、その日のうちにミーティングを行い決める。
決定事項は、利用者別の用紙に記入し、スタッフノートには決定事項があることだけ示し、申し送りの時間短縮と情報共有を図る。
日々の変化に気付く事

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田・紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	10	1	16

前回の改善計画
 研修や会議など特定な職種や管理者が参加していることが多い。現場の状況や会議の内容によっては同行する。
 本人を中心としたネットワークが把握できていないため、訪問先や家族から情報を得る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 担当者会議などへの同行は増えてきている。
 訪問先や家族から情報を得るようにしているが、まだまだ把握できていない部分も多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	7	7	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	4	9	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	8	6	1	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	9	5	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域の行事やイベントに参加している。地域の方から声をかけられることが増えている。
 研修や会議等は、案内を確認し参加している。地域交流会を行っている
 家族等に本人の様子を確認している。いつでも受け入れできるよう心掛けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 外部で行われる会議等は、管理者が出席することが多く、多くの職員が関わっていない。
 家族・他の機関のスタッフ等からの情報収集が不足している。
 事業所地域外の地域との活動・関わりが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 積極的に自分から地域の人たちに声をかける。
 外部研修会に積極的に参加する事

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

7. 運営

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田・紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	6	1	16

前回の改善計画	地域との関りを積極的に持つこと。そして信頼関係を作る。地域に必要とされる事業所を目指す。地域の困りごとに対応する。 スタッフ一人ひとりのレベルアップのため研修する。管理者・リーダーは一人ひとりの力量の把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ一人ひとりが、研修に参加する機会が増えている。 地域への関わりも徐々に増えつつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	4	7	4	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	4	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	9	1	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	8	6	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族や地域からの意見や苦情は、速やかに報告し、同じことにならないよう話し合い共有するようにしている。 運転や言葉遣いに気を付けている。 疑問に感じたことはその日のうちに聞くようにしている。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の地域の方との関りが少なく、信頼関係が作れていない。 苦情等の対応を決定しても、共有されていないことがある。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 苦情を受けないよう情報共有に努める。 この事業所のケアの質を上げるためにもスタッフが話し合えるの場を設ける。 事業所のあり方について職員が意見を言えるよう
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田、紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	2	1	16

前回の改善計画
 新人教育の見直しにより計画に沿った研修をする事。
 認知症の勉強会で学んだことを実践。スタッフ一人ひとりが考えられるように確認しながらケアを行うこと。

前回の改善計画に対する取組み結果
 認知症の勉強会を続ける中で、スタッフの意識や、知識は深まりつつある。勉強会参加の意欲低下が見られ始めているため、今後は利用者の個別カンファレンスの時間として、認知症ケアへの関心を深めたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	10	2	2	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	2	4	16
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	5	8	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	4	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 職場内の勉強会を実施している。外部の研修にも可能な限り参加している。
 ほ一む理念を念頭に学んだことや経験を生かしている。
 利用者様・家族さん等との信頼関係を意識している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域連絡会や、研修に参加できていない職員がいる。
 学んだことを実践できていない。伝えれていない。
 勉強会(認知症)に参加する職員がほとんどいない時がある。
 リスクマネジメントの理解が低く、取り組み方がわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 自ら積極的に研修に参加する。
 研修の内容を他の職員に伝える場を持ち理解を深める。
 ヒヤリハット・リスクマネジメント等は再発防止や予防的な対応を全スタッフが意識する事

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:30~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 北出・定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・長谷・定免恵・直江・松田、紙田・山木・山田 以上 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	4		16

前回の改善計画	利用者の訴えにすぐに対応できない場合は、理由を説明し理解して頂き後に対応する事。 スピーチロック・ドラッグロック・フィジカルロックに気を付ける事。 成年後見制度の研修を行う。 書類の管理。周りへの配慮を行うこと。
前回の改善計画に対する取組み結果	委員会活動の影響もあり、身体拘束に関しての意識は高くなっている。しかし、まだスピーチロックと捉えられる言葉がけは少しみられる。 成年後見制度の研修は行なったが、全体の理解までには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	8			16
②	虐待は行われていない	10	6			16
③	プライバシーが守られている	4	12			16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	7	3	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	10	4		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 虐待や身体拘束等を意識しながら行動できている。 入浴時など、同性を希望される場合は同性で対応している。 本人の気持ちを意識して言葉かけ等を行っている
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々の記録が広げたままになっている。成年後見制度についての理解が不足している。 「ちょっと待って」と言ってしまう。トイレの声掛けを大きい声でしてしまう。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) スピーチロックをしないよう意識し、質問的な声掛けを行う。 書類はカゴを使い、広げたままにしない。 個別記録は、その場を離れる時は閉じるよう意識する。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	10	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	8	0	3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	9	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	9	0	2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見
いろいろなことを考えながら取り組んでいることがわかった

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
具体的にやっていることがわかると良い

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見
。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

私たちの日々の取り組みなど運営推進会議の場でもっと発表する
メンバーの方々に評価の説明をもっと細やかにすること

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	10	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	10	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	11	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	9	0	2

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>事業所の中がどうなっているのかよくわからない。 会議の場所しかわからないところがある</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>気軽に立ち寄っていただくために地域交流会を開き福の神を知っていただく</p>
<p>【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】</p> <p>カギはかかっているかはわからない</p>
<p>【今回の改善計画】※後日記入</p> <p>年度の初めに事業所の中を見学いていただく。 施設全体がどうなっているのかを説明する 地域交流会等事業所で行事を行うときは通信などを用いて地域の方々に周知する</p>

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	11	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	11	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	8	0	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	10	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

地域の行事等参加している

【前回の改善計画】

開かれた事業所を目指す。地域の行事に参加する
また、認知症カフェ・地域交流会などを通して相談しやすい関係づくりをする
地域の一員として地域の伝統や文化を一緒につなげていく

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

子供 110 番の家
まちの認知症相談員になっていることを知らなかった
是非、会合に出席してもらって話をして欲しい

【改善計画】※後日記入

福の神通信を活用して困りごとが相談できる事など載せる
老人会、民生委員の方々にまちの認知症相談員の活動を話す場を設ける

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7	0	4
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4	1	7
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	0	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

地域の方を交えた会議とは、どんな会議なのかイメージがつかめない。

【前回の改善計画】

認知症になっても地域で暮らしていけるような取組みをしていることが分かった

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

DVD をみればわかる

【改善計画】※後日記入

まちの認知症相談員をしていることを通信に載せたり民生委員にも紹介する

運営推進会議や民生委員の方々など近所に心配な方がいないか情報収集する

利用者それぞれの地域に出向きつながりをこれからの継続していけるように理解を求める

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	5
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	10	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6	1	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8	0	3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

行事等にできるとき参加した

【前回の改善計画】

メンバーの方々に福の神での行事を行う際協力を求め参加した
 行事等はもう少し早くにわかったらよかった。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

地域の問題があれば一緒に考えていけるようにする

行事の参加については早めにお知らせする

(運営推進会議に次月等の行事の予定をお知らせするようにする)

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5	4	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	9	0	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	5	6	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

防災計画があることが知らなかった

【前回の改善計画】

避難訓練の計画は遅くても2週間前までにしてほしい

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

避難所の看板を考えてはどうか

→福の神は福祉避難所ですが災害時行政の要請で避難所が立ち上がるため
看板をあげることは出来ない

【改善計画】※後日記入

防災計画を年度初めにメンバー皆さんに配布する

避難訓練の計画については前もって計画を立て運営推進会議の日程をお知らせする

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人弘和会	代表者	理事長 畝 和弘
事業所名	たきのーほーむ 福の神	管理者	森川 みなこ

法人・事業所の特徴	1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。 2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。 3.認知症と云う病気の理解を深める為、外部の研修に出たり、内部で勉強会をしています。 4.認知症キヤラバンメイドの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアに ついでの研修の講師をさせて頂きます。また、まちの認知症相談員がいる 5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って活き活きできる時間を大切に します。						
	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	6人	0人	17人

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	6人	0人	1人	1人	0人	6人	0人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者一人ひとりの自己実現に向けてた取り組むことを目標とする。そのために各項目ができていなければならない。スタッフ会議等で9項目の内容を確認し振り返る時間を作る。小規模多機能の事業所として柔軟に対応する	月を決めて職員で振り返る時間を設けた。自分たちは出来ているのか？を確認した。認知症になっても地域で暮らしていけるような取り組みをし地域の方々にも理解を得られるように取り組んだ	いろいろなことを考えながらいることが分かった	日頃私たちがどのような考え方で利用者の支援をしているのか。また、事例を通し取り組み等を運営推進会議の場で発表する
B. 事業所のしつらえ・環境	気軽に立ち寄ってもらえるように、地域交流会を開いて福の神を知っていただく。	2カ月ごとに交流会を開き気軽に福の神に来ていただけるように取り組んだ	施設の中がどのようかわからないところがある	運営推進会議のメンバーの方々に事業所の中を説明しながら見学していただく 交流会などの行事は福の神通信などをを用いて地域の方々に周知する
C. 事業所と地域のかかわり	開かれた事業所を目指す。地域の行事に参加。また、認知症カフェ・地域交流会など通じて相談しやすい関係づくりをする 福の神が地域の一員として地域の伝統や文化を一緒につなげていく	認知症カフェ・地域交流会などを通して相談を行っている 地域での当番や行事は必ず参加している 地元の小学校の活動に参加している	まちの認知症相談員がいることを知らなかった。老人会や民生委員の方々へ会合に出てもらい話をしてもらいたいとの要望あり	福の神通信を活用して困りごとが相談できることを載せる 各町会の老人会の会合に出てまちの認知症推進員の活動を報告する 地域とのかかわりを大切にしようという関係づくりができるようになる

<p>D. 地域に向向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>今後は利用者の地区の民生委員と情報の共有ができるように連絡を密にする 認知症になっても地域で暮らし続ける仕組みを考える 利用者一人ひとり今まで大切にしてきたことなどを支援する</p>	<p>事例を紹介し支援の取り組みを発表した また、利用者の地元での支援を行い認知症への理解に取り組んだ</p>	<p>DVD を観ればわかった</p>	<p>福の神にはまちの認知症相談員がいることを通信で周知する 運営推進会議や民生委員の方々に心配な方がいないか情報収集する 利用者それぞれの地域に向向きつながらりをこれからも継続していけるように理解を求める</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>会議の場で地域に困った方がいなか情報収集する 事業所の行事などをメンバーの方々に協力の声掛けをする</p>	<p>事業所の行事や避難訓練など協力を得られた</p>	<p>行事はもう少し早くにわかると良い</p>	<p>地域に問題があれば一緒に考えていけるようにする 行事の参加については早めにお知らせする (運営推進会議に次の行事の予定をお知らせする)</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>引き続き町の防災訓練には利用者と一緒に参加する 避難訓練の計画は早めに立てて地域のの方々に参加してもらえらるようにする</p>	<p>避難訓練の計画は遅くとも 2 週間前までにする</p>	<p>防災計画があることを知らなかった。</p>	<p>福の神の防災計画については年度の初めにメンバーの方々に配布する 避難訓練は早めにお知らせする</p>